

1. 実践報告 (3年 英語科授業 芳賀まどか)

◆ 単元名 Chapter 3 尊敬する人についてスピーチをしよう
本時の学習

(1) 教材名 Lesson 4 Speech – A Man’s Life in Bhutan

(2) 本時の目標

「～している〇〇(人)」という表現を用いて、友達に特定の人物を説明したり、聞き取ったりすることができる。

(3) 生徒が主体的に課題解決に取り組むための教師の工夫

導入段階で、生徒が興味を持てるような教材を使用し、意欲を高める。さらに、導入時に発表できた生徒には後の活動でヒントとなるようなカードを渡すことでより課題解決に活発に取り組むことを期待する。そして、導入時には分からなかった英文の意味を本時の授業終了時には、納得して自ら表現が可能になるようにしたい。

(4) 学習展開

○学習活動 ・ 生徒の表れ	◎教師の支援、留意点 ☆評価
<p>○日時や天気、単語に加え、既習の文法事項に関する質問に挙手で答える。</p> <p>○教師の説明文を聞き、それを指す人物を絵の中から探し当てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Where is the man wearing stripe shirts? → Here. (人物を見つけ、印をつける) ・Where is the man playing soccer? → Here. (人物を見つけ、印をつける) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「～している〇〇(人)」という表現を用いて、友達に特定の人物を説明したり、聞き取ったりしよう。</p> </div>	<p>◎身の回りの物や事柄について尋ねたり、既習の文法事項の応答をしたりすることで、生徒が挙手しやすい雰囲気をつくる。</p> <p>◎生徒にとって身近な教材 (絵・資料) を提示することによって、興味を引き立て、積極的に活動できるようにする。</p> <p>◎挙手をして発表した生徒に、後の活動で利用するカードを渡していき、意欲的に発表できるようにする。</p>
<p>○本時の文法事項を学習し、プリントに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・The man standing over there is Ken. ・Who is the girl playing the piano? ・Look at the cat sleeping under the tree. <p>人物探しゲームを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートのイラストに載っている人物全員の名前をクラスメイトに尋ねながら見つけ出す。 ・Who is the man dancing on the stage? →He is Hiro. / I don’t know. ・Who is the girl walking with her dog? →She is Mika. / I don’t know. 	<p>◎イラスト等を利用することで、その表現が使われる状況をイメージしやすくする。</p> <p>◎導入活動の際にカードを渡した人が名前を知っていることを学級全体に伝え、まず誰に尋ねればいいのか考えるよう促す。</p> <p>◎うまく文が作れない生徒のために、尋ね方と答え方の表現をヒントカードとして準備しておき、活動中に渡していく。</p> <p>◎一人の人物を例に挙げ、本時の目標文となる文の作り方をもう一度確認し、見つけ出した人物全員の文をつくり、反復練習するよう促す。</p> <p>◎早く終わった生徒にはワークシートの練習問題を行うよう指示する。</p>
<p>○尋ねた情報を元に、「～している人は〇〇です。」という文をつくり、ワークシートに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・The girl playing the drum is Mayu. ・The boy eating takoyaki is Ken. <p>○全体で自分で作成した人物を説明する文の答え合わせを行う。</p> <p>○リスニング問題を解く。</p> <p>○自己評価カードを記入する。</p>	<p>☆「～している〇〇(人)」という表現を用いて、友達に特定の人物を説明したり、聞き取ったりすることができたか。</p> <p>◎デジタル教科書やプレゼンテーションソフトを使って、問題や解答を明確に提示する。</p> <p>◎本時の授業で分かったこと、できるようになったことを書くように促す。</p>

2. 成果と課題

【成果】

○新しい文法事項の導入で、身近な内容を盛り込み工夫をすることで、ほとんどの生徒たちが興味を持ち、意欲的に取り組み、文法内容を理解することができた。また、文法事項を定着させるコミュニケーション活動においても、積極的に級友に話しかけ、情報を得ながら、ワークシートの文を完成させることができた。級友たちと情報交換をすることで、全員が目標を達成することができた。

【課題】

○絵を見ながら、与えられた動詞を使って、その情景を描写する英語を言うことはできても、何もない状態から現在分詞を使って表現することはとても難しい。もっと多くの動詞を使ったパターンプラクティスを行ったり、場面設定をしてこの文法を使った表現を使う練習を行ったりすることが必要だと考える。